



圏央道-横浜環状南線(釜利谷 JCT~戸塚 IC)の事業推進について ~地域とのコミュニケーションを図りつつ事業を進めています~

記者発表資料

- 横浜環状南線は、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の釜利谷JCT~戸塚IC間を構成する自動車専用道路です(参考資料4)。
- 圏央道目標宣言プロジェクトのとおり、平成27年度の開通に向け、現在、地域の皆様とのコミュニケーションを図りながら(参考資料3)、用地買収、調査及び設計を進めています。
 1. 今後とも周辺地域の皆様とのコミュニケーション活動、情報提供の一環として、下記の取り組みを実施していきます。
 - ・よこかんみなみvol. 11の発行(12月中旬発行)
 - ・よこかんみなみコミュニケーション広場の開催(平成20年2月 鎌倉市内開催予定)
 2. また、沿線や周辺地域の皆様からのご質問に、こちらから出向いてお答えする『よこかんみなみ移動相談室』についても随時受付を行っています。
- こうしたコミュニケーション活動を通じ、沿線に住む様々な方の疑問にお答えしたり、ご意見をお聞きするなどの対話を図りながら、今後も引き続き周辺環境に配慮しつつ事業を推進してまいります。

平成19年12月10日

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所
東日本高速道路株式会社 関東支社 横浜工事事務所
横浜市 道路局 横浜環状道路調整部 事業調整課
鎌倉市 都市整備部 国県道対策担当

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 横浜市政記者会	神奈川県政記者クラブ 横浜ラジオ・テレビ記者会	神奈川建設記者会・横浜海事記者クラブ 鎌倉市メディアセンター
--------------------	----------------------------	-----------------------------------

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 計画課	計画課長 土肥 学	電話 045-316-3569
東日本高速道路株式会社 関東支社 横浜工事事務所 工務課	工務課長 上田 俊也	電話 045-352-3771 (代表)
横浜市 道路局 横浜環状道路調整部 事業調整課	事業調整課長 森 秀毅	電話 045-671-3985
鎌倉市 都市整備部 国県道対策担当	担当課長 小川 節夫	電話 0467-23-3000 (代表)

圏央道-横浜環状南線の現況と今後の予定

1. 現在の状況

- ・ 用地進捗率53%（平成19年11月末現在）
- ・ 設計用地説明会未実施地区があり、未だ地質調査未実施の地区も存在します。

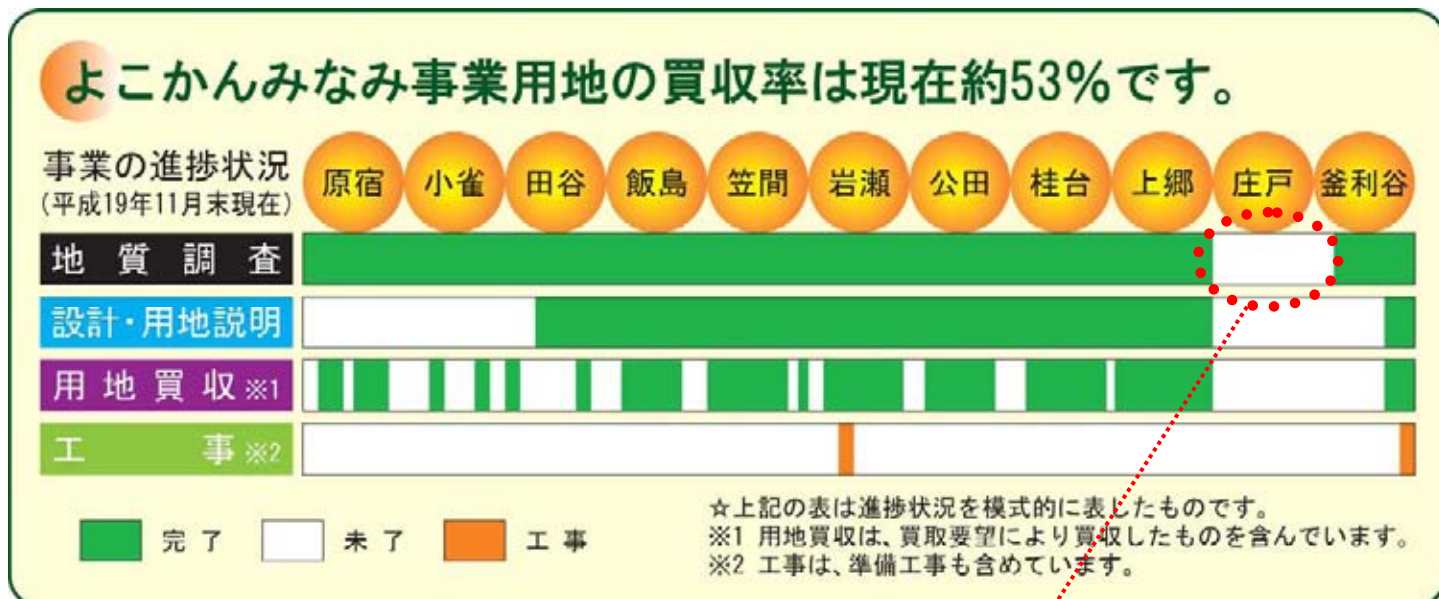
2. 今後の予定

- ・ 平成27年度の開通目標に向け、目標宣言プロジェクト上の年度目標を着実に達成していきます。
- ・ このため、平成19年度事業目標として掲げている『設計用地説明会未実施区間の地質調査の実施』および『用地進捗率57%』を達成させるため、今後も調査・設計・用地買収を推進していきます。
- ・ とりわけ、地質調査は、事業検討の基礎データとして不可欠なものでありますので、未実施地区について早急に進めてまいります。

※【参考】圏央道目標宣言プロジェクト

- ・ 圏央道は平成17年11月に「目標宣言プロジェクト」に位置づけ、各区間の開通目標を公表し、徹底した事業進捗管理のもとで進めています。
<参考資料2>参照

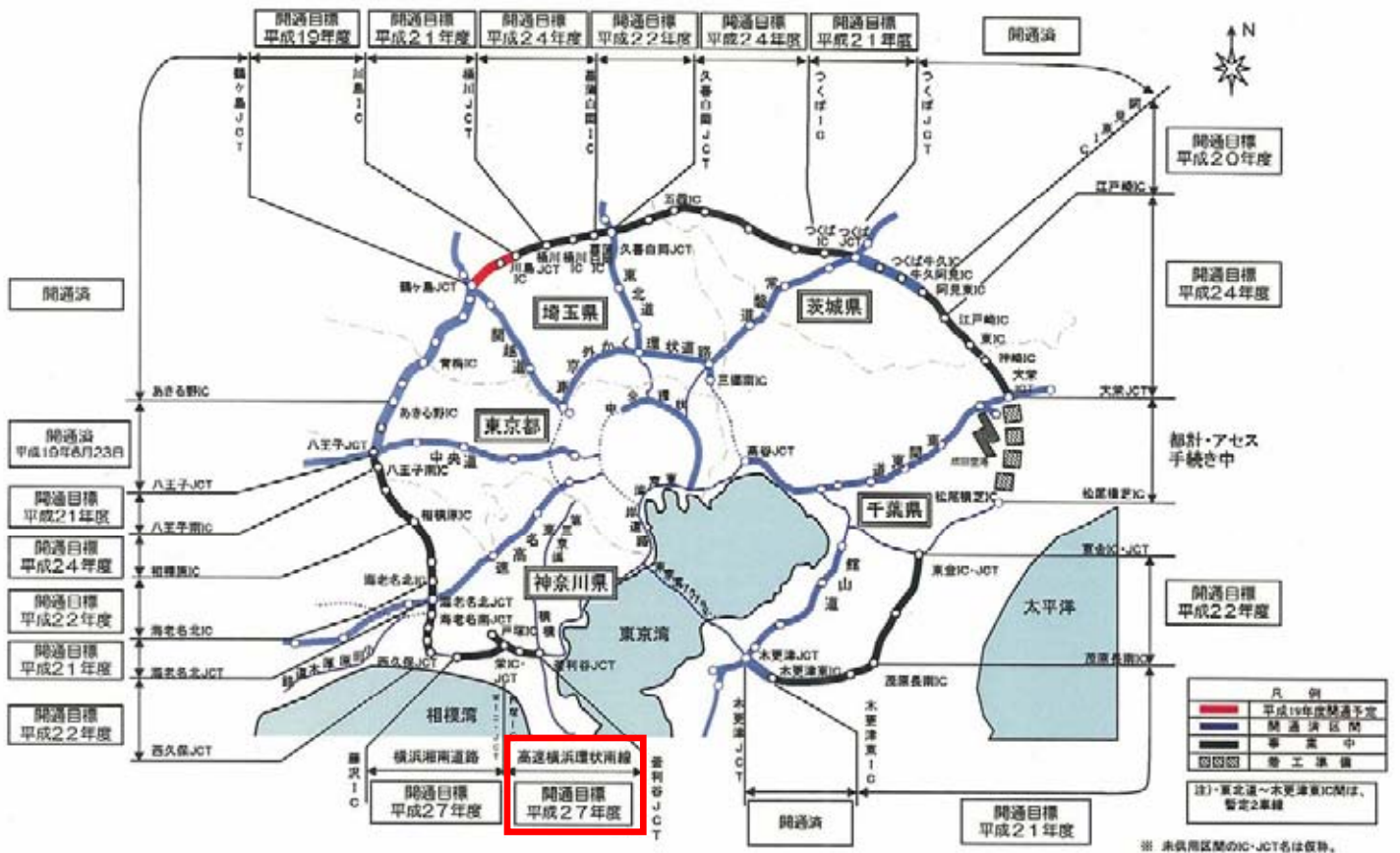
進捗状況



設計用地説明会未実施区間の地質調査の実施

圏央道目標宣言プロジェクト

一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道 L=300km 開通目標年次



圏央道目標宣言プロジェクト 平成18年度版(達成度及び評価)

区 間	用地進捗率		平成18年度 事業目標	平成18年度 事業目標の達成度 (平成19年3月末)	事業状況の評価
	H18.3 月末	H19.3 月末			
高速横浜環状南線 (金利谷JCT～戸塚IC) (L=8.9km)	46%	52%	・設計用地説明未実施区間の地質調査の実施 ・用地進捗率51%	・設計用地説明未実施区間の地質調査の実施……………目標未達成 ・用地進捗率51%……………目標達成	●●●●

※1 目標を達成するためには開通目標に応じた事業費の確保が前提となります。
 ※2 評価の凡例 ●●●● : 目標達成、または、一部に目標未達成があるが、開通目標に変更は生じない。 ●●●● : 開通目標に関わる課題が発生している区間。
 ●●●● : 目標未達成により、開通目標に変更が生じる。

圏央道目標宣言プロジェクト 平成19年度版

区 間	事業化 年度	用地 進捗 率	平成19年度 事業目標	事業 段階	目標宣言	
					開通目標達成条件	開通目標年次
高速横浜環状南線 (金利谷JCT～戸塚IC) (L=8.9km)	S63	52%	・設計用地説明未実施区間の地質調査の実施 ・用地進捗率57%	用地	用地残件について、平成22年度までに任意取得により概成	平成27年度

※ 目標を達成するためには開通目標に応じた事業費の確保が前提となります。

圏央道-横浜環状南線の事業をお知らせするための取組

1. よこかんみなみコミュニケーション広場

- ・ パネルや模型展示を行い、来場者との個別のコミュニケーションを実施。
- ・ 今までに7回開催。約11610名の来場者。

2. 相談窓口

- ・ 沿線や周辺地域の皆様からのご相談を頂く窓口。
- ・ 今までに99回開催。約330名の来場者。

3. よこかんみなみ移動相談室

- ・ 沿線や周辺地域の皆様のお申し込みにお応えして、地域の公民館や学校、職場などにスタッフが直接出向いて行う「移動型」の相談室。

4. 広報紙「よこかんみなみ」

- ・ 事業広報紙。新聞折込等により周辺地域の皆様に配布。
- ・ 平成16年3月から現在までに、vol.1～10までを発行。

5. Webサイト

- ・ 事業情報を広くかつタイムリーに提供。平成19年1月に開設。
- ・ <http://www.yokokan-minami.com/>

よこかんみなみコミュニケーション広場

横浜環状南線の事業について、広く地域の皆様にお知らせするための活動です。米国の公共事業などで行われている、市民と対話する手法の一つ「オープンハウス」形式で、パネルや模型展示、来場者との個別のコミュニケーションを行っています。平成18年9月の開催を皮切りに、これまで計7回の開催で、約11610名の方にご来場いただきました。



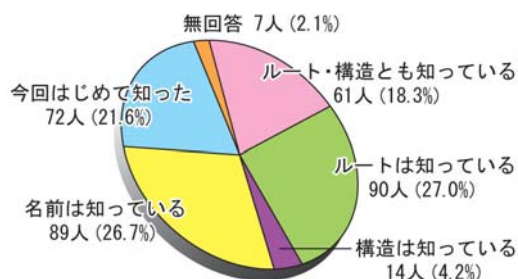
◆開催状況

回数	開催日	開催場所	来場者数
第1回	H18.9.29～H18.10.1（3日間）	ダイエー港南台店	約 1,800名
第2回	H18.11.2～H18.11.4（3日間）	大船駅笠間口	約 2,900名
第3回	H18.12.8～H18.12.10（3日間）	戸塚駅地下自由通路	約 2,800名
第4回	H19.2.23～H19.2.25（3日間）	鎌倉生涯学習センター	約 650名
第5回	H19.9.6・H19.9.8（2日間）	ダイエー港南台店	約 700名
第6回	H19.10.12～H19.12.14（3日間）	ダイエー金沢八景店	約 1,800名
第7回	H19.11.9～H19.11.11（3日間）	本郷台駅前	約 960名
合計			約 11,610名

◆アンケート結果

コミュニケーション広場では、アンケートを実施しております。第7回（本郷台駅前）のアンケート結果（回答数 333名）は以下のとおりです。

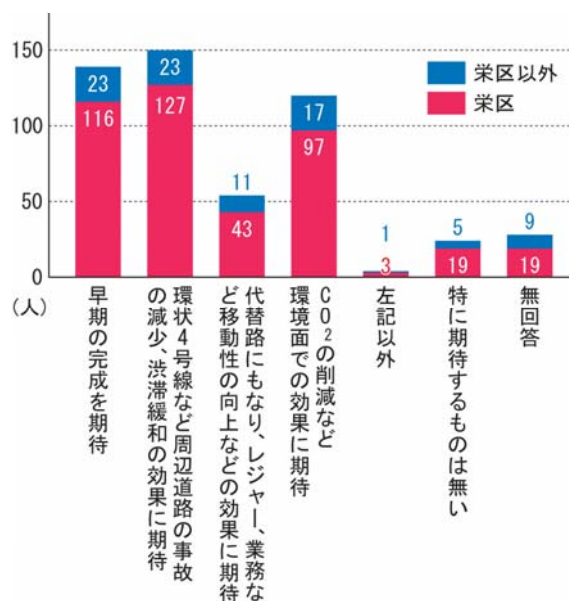
Q ルート、構造などをご存知でしたか？



自由意見より

- ・ 早期完成を期待します。とにかく笠間十字路、公田近辺の渋滞緩和に期待を持ちます
- ・ とにかく一日も早い開通を望む。一般道の渋滞は限界に近い。現状の渋滞による環境破壊の方が、余程重大だと思う
- ・ 騒音、排気ガスについて、住環境への影響を重点的に考えて欲しい。利便性は理解できる
- ・ これ以上道路は必要と思わない

Q 横浜環状南線に何を期待しますか？



相談窓口・移動相談室

◆ 相談窓口

横浜環状南線への疑問、質問、不安などについて、沿線や周辺地域の皆様にご相談いただく相談窓口を開催しています。事業の概要を説明するためのパネルや模型の展示も行っており、栄第一水再生センター1Fにて毎月2回程度開催中です。

<開催状況>

年度	期間	回数	来場者数	相談件数
平成17年度	平成17年8月～平成18年3月	35	147	139
平成18年度	平成18年4月～平成19年3月	48	121	149
平成19年度	平成19年4月～平成19年11月	16	64	63
計		99	332	351

相談対応の状況



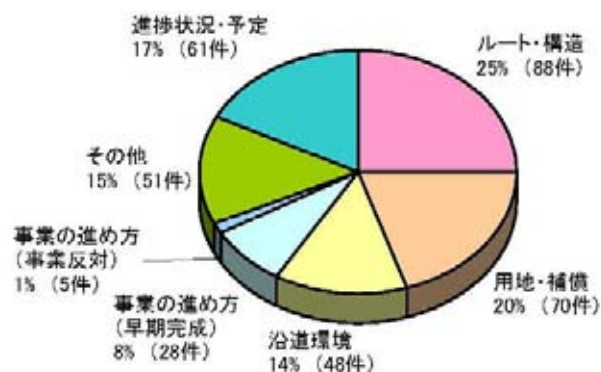
模型での説明状況



模型の展示



相談内容の内訳



◆ 移動相談室

日程や開催場所が決まっている相談窓口の他に、沿線や周辺地域の皆様の申し込みに合わせて地域の公民館や学校、職場などにスタッフが直接出向いて行う「移動型」の相談室を実施しています。ご要望に応じて模型、資料などをご用意し、事業概要、進捗状況、道路構造、整備効果などを説明しながら、コミュニケーションを図ります。

【申し込み・問い合わせ】

TEL: 045-352-3771 (代表) / 受付時間 平日10:00～17:00

NEXCO東日本(東日本高速道路株式会社) 横浜工事事務所

工務課「よこかんみなみ移動相談室」係

広報紙、ウェブサイトによる周知活動

◆ 広報紙「よこかんみなみ」

横浜環状南線の事業広報紙です。平成16年3月から現在までに、vol.1～10までを発行、事業の概要や整備効果、進捗状況、環境保全への取り組みなど幅広く紹介するほか、「相談窓口」「よこかんみなみコミュニケーション広場」といった活動の告知、報告を行っています。Webサイトでは、すべてのバックナンバーをご覧いただけます。



◆ Webサイト <http://www.yokokan-minami.com/>

平成19年1月、横浜環状南線の事業に関する情報を広くかつタイムリーに提供する目的で開設しました。広報紙「よこかんみなみ」のバックナンバーや「よこかんみなみコミュニケーション広場」などのイベント情報のほか、アンケートでいただいたご意見等、広報紙などではご紹介しきれない様々な情報を提供していきます。



圏央道-横浜環状南線(よこかんみなみ)とは



■ 圏央道全体計画の概要
首都圏中央連絡自動車道(圏央道)は、首都圏中心部から半径約40km~60kmの位置に計画されている延長約300kmの自動車専用の高規格道路です。
圏央道は都心からの放射状道路をつなぐ環状の道路で、完成すると都心部の通過交通を排除し、流入する交通を適切に分散することで、渋滞の緩和による走行経費の節約を実現させます。横浜、厚木、八王子、川越、つくば、成田、木更津などの業務核都市をはじめとする中核的な都市を連絡することにより、都心に集中する業務機能を適切に分散させ、地域開発を促進するなど、首都圏発展に対しても重要な役割を果たします。また、首都圏の環状道路整備の一環として、政府の都市再生プランに位置づけられています。

横浜環状南線(よこかんみなみ)は、横浜横須賀道路の釜利谷ジャンクションから一般国道1号(吹上交差点付近)を結ぶ延長約8.9kmの自動車専用道路です。横浜環状道路の南側区間であるとともに、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の一部を構成しており、全体延長の約7割がトンネル・掘割構造です。

現在、沿線住民の皆様と環境対策や構造等について話し合いを行い、ご意見をお聞きしながら調査・設計・用地買収等を実施しており、平成27年度の開通を目指して事業を進めています。

この事業の完成により、横浜湘南道路・さがみ縦貫道路等の自動車専用道路とネットワークを形成し、広域的な交通の円滑化を図ります。

また、鎌倉街道・原宿六ッ浦線等の一般道路に集中する交通の分散を図り、横浜市・鎌倉市域における現道交通の渋滞緩和や沿道環境の改善等が期待されています。

《横浜環状南線の整備効果》

- 横浜環状南線や横浜湘南道路、さがみ縦貫道路等の圏央道の整備により、栄区役所から東名高速道路まで約30分、中央自動車道まで約50分でアクセスできるようになります。(下図参照)
- 横浜環状南線に並行する(主)原宿六ッ浦線の現道交通が分散し、渋滞が緩和することが期待されます。

